

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566) 22-2111  
FAX (0566) 25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 杉 浦 芳 一  
幹事 伊 藤 節 夫  
会報委員長 關 淳 之

2014 ~ 2015年度 国際ロータリー ゲイリー C.K. ホァン 会長テーマ

Light Up Rotary ロータリーに輝きを

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2870回例会プログラム

[当年度=21回目；当月=3週目]

2015年（平成27年）1月19日(月)

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱  
……………それこそロータリー  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告  
8. お祝い  
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)  
9. 幹事報告  
10. 出席報告  
11. 委員会報告  
12. ニコニコボックス報告  
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(1/26) ……クラブフォーラム  
(研修情報委員会)

講師 加藤 真治 会員  
(紹介者 市川 裕大 会員)  
※第2四半期皆出席の発表(出席委員会)  
(2/2) ……  
卓話 「日本とカナダの国際交流～姉妹  
都市提携について～」  
講師 カナダ領事兼通商代表  
マフィー・フレーザー 様  
(紹介者 吉岡 秀記 会員)

## 13:00 14. 本日のプログラム

卓話 「まちづくりプラン(マニフェスト)  
の取組状況について」  
講師 刈谷市長 竹中 良則 様  
(紹介者 吉原 孝彦 会員)

15. 謝辞  
16. 点鐘……〈会長〉  
17. 閉会宣言

13:30 18. 散会

## ゲ ス ト

刈谷市企画財政部広報広聴課  
秘書係長 酒井 隆 様

## 出 席

会員総数 94名 出席免除 23名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 89名  
欠席 11名 出席率 87.64%  
前々回(12/23)の修正出席率 100%

## 会 長 報 告

- 1) 1月15日、伊藤幹事に平成27年愛知県刈谷警察署感謝状贈呈式に出席して頂きました。  
2) 嶋津孝久会員に第11回米山功労者の感謝状とロータリー財団よりベネファクターの感謝状とバッジが届いています。



## 幹 事 報 告

- 1) 今月よりロータリー財団レートが118円になります。

## 会長あいさつ

杉浦 芳一



今日は兵庫県但馬<sup>たじま</sup>にある竹田城のお話をします。「近世山城」「雲海に浮かぶ城」として有名になりました。

秋から冬にかけてのよく晴れた早朝に朝霧が発生し、但馬地方の風物詩となっており、雲海に包まれた竹田城は、まさに『天空に浮かぶ城』を思わせこの幻想的な風景を一目見ようとたくさんの人々が訪れ、危険なため入場制限をする事になってしまいました。

2006年に日本100名城に選定されましたが建物は何も残っていません。

石垣だけで名城になるくらいですので完存する石垣遺構としては全国屈指のものです。

歴史的には木下藤吉郎秀吉の中国攻めの時からで、生野銀山を守るためのものでしたが関ヶ原の戦いのあとは廃城となっておりました。

400年もの間忘れ去られていた城ですが本丸・二ノ丸・三ノ丸・北千畳・南千畳と歩き、建物を連想しながら戦国時代へタイムスリップというのはどうでしょうか。

## お祝い

**1月の会員の誕生日**…神谷光義、原田光二、橘典子、岡本巧、石川覚雄、浅岡幸雄、兵藤文男、稲垣俊彦、小川耕示、加藤貴紀会員。

**配偶者の誕生日**…坂貞子（茂）、杉山恵美子（欣輝）、原田トモ子（光二）、杉浦眞佐子（世志朗）、小野みどり（雄司）、鈴木ゆかり（文三郎）、小澤敏子（陽一）、堀田みゆき（昌義）、稲垣貴子（俊彦）、新海好美（伸二）、中川久子（耕児）様。

**結婚記念日**…池田憲司、加藤哲也、杉浦芳一、稲垣俊彦、角谷広高、塙栄一、吉岡秀記会員。

**1月度入会記念日**…杉浦世志朗、鈴木文三郎、下谷敏朗、加藤大志朗会員。

## 喜寿のお祝い



神谷 光義 会員

## 卓話

### 「まちづくりプラン（マニフェスト）の取組状況について」

刈谷市長 竹中 良則 様



本日は、お招きを頂きましてありがとうございます。

私は、先の選挙におきまして、1期目に引き続き市民の皆様が「元気で幸せ」を実感できるまちづくりを推進するために26項目のマニフェストをお示しました。そして、マニフェストを実現するために、38の具体的取組を工程表としてまとめた「まちづくりプラン」を作成し、着実に事業を進めてまいりました。

本日はこの「まちづくりプラン」の取組状況についてお話をさせていただきますので、よろしくお願ひします。

平成26年11月末時点の進捗状況であります。各取組への着手率は100%となっており、全ての取組について実現に向け取り組んでおります。38の取組のうち、既に達成している取組は28の取組で、全体の7割を超える取組が既に完了しております。残りの取組につきましても、全体の9割は進捗状況が75%を超えており、順調に事業を推進しております。

全国的に自治体の財政状況が苦しい中であって、このように概ね計画どおり進めることができましたのも、本日お集まりの皆様をはじめ、市民の皆様のご理解とご協力の賜物と感謝を致す次第であります。それでは、5つの分野別に主な取組状況についてお話しさせていただきます。

1つ目は、「都市環境分野」でございます。「中心市街地の整備と活性化」と致しまして、銀座地区の市有地を中心とする約6000m<sup>2</sup>のエリアを対象に、公募型プロポーザルによる整備事業に着手致しました。プロポーザルに3グループから応募があり、書類審査による1次審査を経て、昨年12月に事業計画提案書を受け付け、本日午後開催されるプレゼンテーション及びヒアリングによる2次審査において最優秀提案者及び優秀提案者を選定のうえ事業者を決定し、平成31年度の完成を目指してまいります。

2つ目は、「教育文化分野」でございます。「亀城公園（刈谷城址）の整備・歴史博物館の建設」と致しまして、全体の一部ではありますが石垣や隅櫓、多間櫓など歴史的建造物の復元や歴史博物館の整備などにより、刈谷が歩んできたまちの歴史の1つのシンボリックな存在にしたいと思っております。

亀城公園の整備では、歴史的建造物等基本計画を策定し、亀池周辺の第一工区の整備を推進するとともに、第二工区の整備で予定している隅櫓などの歴史的建造物建築のための発掘調査等を実施してきました。第一工区の整備は今年度で完了致します。第二工区は、引き続き刈谷城址の発掘調査を行い、隅櫓などの復元を進めてまい

ります。また、歴史博物館は平成30年のオープンに向けて、建設予定地のボーリング調査を実施し、今年度は基本設計を行っています。

3つ目は、「産業振興分野」でございます。

「新技術開発や販路拡大への支援」と致しまして、新技術開発に伴う依頼試験等の手数料補助や、経営改善・販路拡大・新製品開発の指導に加え、業務改善のための企業調査と改善指導を新たに実施致しました。また、市内中小企業の市外への流出防止、雇用の維持拡大などを目的に、設備投資の補助制度を新たに創設するなど、様々な支援を行っています。今年度は、新たな支援策として、市内事業所における設備の更新などに係る経費の一部も補助できるようにしております。

次に、「技能五輪全国大会」でございます。昨年、第52回技能五輪全国大会が刈谷市を含め8市で開催され、「精密機器組立て、機械組立て、機械製図、工場電気設備」の4競技が本市の産業振興センター及び体育館で行われました。刈谷市から技能五輪に82人、アビリンピックに2人の選手が出場し、愛知県選手団の3割以上を占め、44人の方が入賞されました。併催イベントとして「ものづくりフェスタ刈谷」や「カリアンナイト技能五輪応援バル」を開催するなど、大会期間中は全国から多くの方に来場頂き、盛況に終えることができ、大変感謝しております。

4つ目は、「福祉安全分野」でございます。

「保育所の新設及び定員拡大」と致しまして、民間保育所の設置、移設等に必要な建物に関する経費補助を行うことにより、定員拡大を図っております。また、公立保育園の改築に伴い、定員拡大を図ることで、増え続ける入園希望者に対応してまいります。

近い将来、この地域に確実に起こると言われる南海トラフ巨大地震に対する備えとして、ハード・ソフト両面にわたり対策を進めてまいりました。

「緊急情報の伝達手段の確保」に関する取組として、市内10ヶ所への同報系防災行政無線の整備や全国瞬時警報システム（Jアラート）を市内学校等51施設に接続致しました。また、緊急時にコミュニティFMが自動的に起動する防災ラジオを市で一括購入し、市民の皆様へ販売をさせて頂きました。

「地域防災力の強化」に関する取組と致しまして、東境、元刈谷、高須、築地の地域広場に拠点防災倉庫を整備しました。また、既存の避難所に設置している防災備蓄倉庫を老朽化が進んでいるものから随時更新を行っており、今年度は、9箇所の更新を予定しております。そして、市中心部の緑の創出、災害時の復旧支援活動の拠点となるように、市民会館跡地に「セントラルパーク」として大手公園と大手広場を整備し、昨年の3月にオープン致しました。

防犯対策と致しまして、青色回転灯を搭載した車両で市内の夜間巡回パトロールを継続実施しておりますが、今年度から拡充強化し、市内全域において、自主防犯活動が困難な午後10時から翌朝4時を基本として、3台体制で毎日巡回することにより、深夜の犯罪抑止に努めて

いきたいと考えております。

最後は、「計画推進分野」でございます。

「タウンミーティングの導入」と致しまして、「地域力防犯と防災」をテーマに、全中学校区単位で地域タウンミーティングを実施し、延べ、252人の方にご参加頂きました。また、中学校3年生を対象に市内6中学校で、次世代タウンミーティングも実施致しました。

「衣浦定住自立圏共生ビジョンの推進」と致しまして、知立市・高浜市・東浦町との共生ビジョンの策定以来、3市1町で様々な取組を進めてまいりました。

以上、まちづくりプラン進捗状況の報告とさせて頂きます。

最後に、今後のまちづくりに対する私の思いではありますが、「市民生活の安心安全」が最も重要なことであると考えております。これまでこれからも、その視点は大きく変化することはないと思っており、「市民生活の安心安全」の視点を施策の根底に置き、市民の皆様が“元気で幸せ”を実感して頂けるよう、引き続き皆様と一緒に目指してまいりたいと考えておりますので、皆様のより一層のご支援とご協力をお願い致します。